

# 「地層グミ」を製作 中学生アイデア基に

日さく



社員が手がけたパッケージデザイン



2つの味が楽しめる地層グミ

どもから大人まで楽しく地層について学んでほしいとの思いが込められているという。  
さいたまエンジンは通常、生徒が企画を提案して終了となるが、若林直樹・同社社長の「地域の

一言から、若手社員を中心としたプロジェクトチームが発足し、県内企業の協力を得て、グミの製造・パッケージ制作・包装の作業を進めた。「地層グミ」のパッケージデザインは社員が手が

中学生に描かれていた様々な化石が隠れており、スーツ姿の男性は若林社長をイメージしている。グミは社員が試食と話し合いを重ね、地層らしさと食欲をそそる見た目を両立した。オレンジ色の層はエナジードリンク味、半透明の層はコーラ味に仕上げ、子どもから大人まで美味しく楽しめるようにした。

日さくはこのほど、取引先や地域住民、展示会・学生向け会社説明会で配布する販促品として、地域の中学生のアイデアが基になった「地層グミ」を製作した。

同社の本社があるさいたま市では、市内の中学生が企業や地域について研究し、年間15回程度の授業を通じて参画している企業にビジネス提案を行う探求学習プログラム「さいたまエンジン」を行っている。同社は、社会貢献や地域との交流を目的に2023年度に初めて参画し、中学生からは様々な企画が提案されたが、その一つが与野南中学校の生徒が提案した「地層グミ」だった。子